

岐阜信金の特許評価融資

春日井の会社、第1号実施

岐阜信用金庫は19日、三菱総合研究所（東京）と連携して取引先企業が持つ特許を評価して行う融資の第1号案件として、塗料製造販売の五合（愛知県春日井市）に融資を行った。同社が持つ地球環境に配慮した無機塗料と、安全性を高めた天井クレーンコントローラに関する特許を評価。両製品が従来品より技術的に優位性があり、シェアアップなどの将来性が見込めると判断した。（高橋友基）

今回の融資は、企業の「企業特許レポート」アを中心に海外でも販

が持つ特許の経済的価値を算出した三菱総研

事業を手掛ける企業に

融資する国内信金初の

取り組みとして今月からスタート。財務諸表に表れない取引先の技術力を評価し、資金需要を掘り起こす。

五合は2003年に設立。05年に防汚性を向上した100%無機塗料を発売。親水性が高い同製品を金属などにコーティングすると、水だけで汚れを落とすことができるアイデア商品。今後、アジアの資金に充てるとし、



特許を評価された天井クレーンコントローラ（右）と防汚性を向上した無機塗料をコーティングしたキッチン

小川宏二社長は「力を知的財産戦略が評価され、勇気を持って前進でき入ってきた特許などのれて良かった。今後もある」と話している。